連合新潟中越地域協議会第33回定期総会

顔の見える地域運動を発展させ、新たな組織拡大につなげよう！

れんごう中越地協

第1157号2023.12.5
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人　矢島　良彦
http://tyuuetu.net/

定　価　１部１０円
購読料は会費に含む

連合中越第33回定期総会を11月22日(水)午後3時から長岡グランドホテルで開催しました。総会には幹事会役員、代議員など約１００人の参加がありました。また、来賓として小林連合新潟会長からご出席いただき、祝辞をいただきました。総会では「社会と未来を変えていく～仲間の輪を広げ、ともに進もう～　顔の見える地域運動を発展させ、新たな組織拡大につなげよう」というスローガンと24年度重点課題、24・25年度役員体制などを決定しました。

総会は、まず永井副議長が開会挨拶を述べ、議長団にＵＡゼンセン・吉田代議員と電機連合・松井代議員を選出しました。

矢島議長は挨拶で、２年間運動の総括として、まず、組織拡大について「１０００万連合の実現を目標として取り組みを進めている。連合新潟は約３０００人の純増となった。内訳は正規雇用の組合員が減り、非正規雇用の組合員が増加した。数の力は重要。今後も組織拡大を進めていかなければならない。その一方で今年は連合評価委員会の提言から20年となるが、その中で指摘されている、連合は組合員だけのものではなく、すべての働く者の代表となる取り組みが必要。中越地協はそのためにライフサポートセンターの取り組みをはじめ、地域に顔の見える運動を進めてきたし、これからも発展させていかなければならない。」と述べました。そして、賃上げについても「今年の賃上げの成果を一過性に終わらせてはならない。来年の春季生活闘争では実質賃金が増加となる取り組みが必要。そのためには価格転嫁できる取り組みも重要になる。組合員の付託に応える賃上げを勝ち取らなければならない」と述べました。そして最後に「今後２年間の運動方針をみんなで確認していきたい」と結びました。

総会には、小林俊夫連合新潟会長、磯田達伸長岡市長からご出席いただき、それぞれご祝辞をいただきました。

小林会長からは、新たに連合新潟会長に就任した決意や情勢等を述べられた後、「今年の春季生活闘争では、５％以上の賃上げを目標に議論を進めている。昨年以上の厳しい取り組みとなるが連合新潟もしっかり取り組んでいきたい」と述べられました。

報告と議案では、23年度活動報告と決算報告、会計監査報告が承認され、24年度重点課題、24年度予算を提案し決定されました。質疑では、近藤代議員・自治労から、長岡市議選の取り組みの報告御礼とあわせて、長岡市議会における連合推薦議員による統一会派結成に向けた取り組み要望がありました。

24・25年度役員体制については、役員推薦委員会松田委員長から経過と今後の役員選出体制構築に向けた意見を含めた報告があり、報告のとおり役員体制が決定しました。

次に、総会をもって役員を退任された猪股副議長（４年間）と米持幹事（７年間）が表彰され感謝状が贈呈されました。

旧役員挨拶では、猪股前副議長、永井副議長と米持前幹事から思いを込めた挨拶が述べられました。その後、総会宣言の採択、五十嵐副議長の閉会あいさつ、矢島議長の団結ガンバロウで総会を終了しました。

また、総会会場入り口では「難病疾病対策署名」「狭山事件再審請求署名」を行い、多くの参加者から協力をいただきました。

磯田長岡市長からは、市政に対する御礼と共に、これからの労働運動、連合運動に期待と激励を込めたご挨拶をいただきました。

連合中越24・25年度役員体制

役職名	氏　　名	産別/単組名
議　長	矢島　良彦	ＵＡゼンセン/原信労組
副議長	五十嵐　聡	ＵＡゼンセン/岩塚製菓労組
副議長	野田　耕作	ＪＡＭ新潟/日本精機労組
副議長	番場　　睦	ＪＰ労組/中越支部
副議長	渡辺　将史	電力総連/東北電労
事務局長	横澤　勝之	自治労/連合新潟派遣専従
事務局次長	清水　賢志	日教組/新教組
幹　事	中村　憲和	自治労/長岡市職労
幹　事	飯田　浩二	ＵＡゼンセン/立川メディカル労組
幹　事	中島　弘毅	ＪＡＭ新潟/東京貿易ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ労組
幹　事	舩山　大志	電機連合/TDKﾗﾑﾀﾞ労組
幹　事	石坂　　学	情報労連/ＮＴＴ労組
幹　事	岡村　和宏	私鉄総連/越後交通労組
幹　事	星野　弘樹	自動車総連/トヨタカローラ北越労組
幹　事	五十嵐貴史	ＪＥＣ連合/石油開発労組
幹　事	渡部　洋平	運輸労連/全日通中越地域協議会
幹　事	佐藤　昌和	基幹労連/北越メタル労組
幹　事	遠藤　元治	全水道/長岡水道労組
幹　事	押野見拓哉	ヘルスケア労協/日赤労組
会計監査	小幡　和樹	全労金/労金労組長岡支部
会計監査	岡地　英紀	紙パ連合/北越紀州労組

各支部選出幹事５名、ＳＪネット委員会選出幹事３名は、各支部、委員会総会での選出となるため、次号で紹介します。

躍進レセプション　４年ぶりに開催

総会終了後18時からは４年ぶりに躍進レセプションが、同会場で行われました。

レセプションには、総会参加者に加え、長岡市大滝副市長、連合推薦支持の国会議員、地方議員、労働金庫、こくみん共済、退職者連合、地区労福協などの多くのご来賓の皆様からもご参加いただきました。

矢島議長の挨拶に続いて、小林連合新潟会長と大滝長岡市副市長から祝辞が述べられました。続いて、西片中越退職者連合会長の乾杯で賑やかな交流がはじまりました。

乾杯後に米山隆一衆議院議員、梅谷守衆議院議員、打越さく良参議院議員から挨拶を受け、激励と連帯の拍手が送られました。

レセプションの中盤では、ＳＪネット委員会の進行でお楽しみ抽選会があり、ＮＰＯ法人ＵＮＥのどぶろくなど、地域資源を活用した食品や福祉作業所のお菓子などの賞品が当たり、大いに盛り上がりました。

終わりには、渡辺新副議長の決意も込めた閉会の挨拶に続いて、ＳＪネット委員会のフレッシュなメンバーによる、次代を担う決意あるエネルギッシュな団結ガンバロウがあり、レプションは終了しました。

磯田長岡市長と面談して
市政要望書を提出

連合中越地協は、11月10日(金)午後1時30分からアオーレ長岡で磯田達伸長岡市長と面会して、「２０２４年度長岡市予算に関する市政要望」を提出しました。

この日は、矢島議長、五十嵐副議長、番場副議長、猪股副議長(代理で渡辺東北電力労組長岡支部委員長)、横澤事務局長、清水事務局次長、渡部幹事(政策福祉担当)が出席し、矢島議長から磯田市長に要望書を手交しました。

その後、懇談に入りました。要望は、８分野26項目にわたっており、全ての項目について懇談できないことから、３項目に絞って、事務局から要望事項を説明し、市長からの見解などが示されました。重点要望の３項目は①最低賃金の周知徹底と中小企業、零細事業者が賃金上昇分を価格転嫁できる施策の展開②グリーン成長戦略の推進と公正な移行、社会対話の推進③中学校における部活動の地域移行にあたって、保護者の経済的、時間的負担増によって子どもが希望する活動を行うことができなくなることが無いような体制の整備です。

磯田市長からは認識や課題等を示されるとともに、しっかり内容を見て対応したいと述べました。

またその他の項目でも、出席した役員から各構成組織・労組の抱えている課題などが出されました。主なものは、運輸、交通関係職場での人員不足、豪雪による交通障害、停電対策対応、地元発の新商品・新技術のアピール方法、医療福祉分野の人員確保策などです。市長からも現場の状況や連合の方針について質問が出されるなど、40分弱の時間でしたが意義深い懇談となりました。

今回提出した要望については、後日文書で回答されることとなっています。

要望書はこちらからご覧いただけます。（ＰＤＦファイル）

詳しくは連合中越のホームページ　http://tyuuetu.net/ をご覧ください

中越地域退職者連合が長岡市・見附市に社会保障制度に関する要請を行う

中越地域退職者連合は11月21日(火)に長岡市長へ、24日（金）に見附市長へ、高齢者の福祉増進に向けた「社会保障制度」に関する要請行動を実施しました。

要請は、①医療計画・医療提供体制の充実、②介護保険事業計画（マンパワーの確保・市民後見人制度の新設・認知症事故の救済）③介護サービス事業の推進、④「ひきこもり」支援、⑤国への要望（介護費用の国費負担の増額・介護保険被保険者を医療保険加入者に拡大）⑥介護労働者の処遇改善と人員確保⑦地域公共交通を軸とした移動保障の充実⑧低所得高齢者問題の８項目です。

要請は、両市ともに連合中越地域協議会の横澤事務局長の同席で、長岡市は大滝副市長、見附市は金井副市長と面談し西片会長から要請書を手渡しました。

長岡市は、大滝副市長の挨拶の後、水島健康福祉部長から要請書全体の大まかな回答があり、詳細については、各担当課長が答える形で行われた。

見附市は、金井副市長から挨拶の後、公共交通の実態について回答があり、その他は、小比鬼健康福祉課長が回答する形で行われました。

今年度の要請の重点である。・地域公共交通を軸とした移動手段の確保については、両市ともコミュニティバス、デマンドタクシーなどで買い物難民の解消や医療機関の通院などに一定の成果をあげているとの説明がありました。

・マンパワーの確保については、今後、介護対象者が増えることが想定されることで両市とも不足が見込まれる事を認識し、長岡市では関係法人や学校法人を含めた委員会で対策を検討してる。見附市では介護ロボットの導入や外国人の採用なども視野に入れて検討している事業所があるとの回答あり。

・市民後見人の新設は後見人の需要が増えることは認識しつつ引き続き検討していくとのことである。

・認知症事故の救済策については、今後も認知症患者が増えることは認識しつつ先進市町村の様子を見ながら検討するとのことである。

・「ひきこもり」の支援については、長岡市では今年サンプル調査で市全体を推計している段階で対策については今後の検討課題の様です。見附市でも過去の調査により該当者数は概ね把握しているが対策は今後の課題の様です。

今後、正式な回答書を役員会で協議し、地域の中で私たちが、どう関わっていけるか、できる協力課題は何かなどを検討していきます。

（中越地域退職者連合　髙峰事務局長）

全国一斉労働相談ホットライン
中越地協でも周知街宣を実施

連合全国一斉労働相談ホットラインが、12月13日14日に行われます。これにあわせて連合新潟では労働相談ホットライン周知街宣車の運行を行っています。中越地協では11月24日から27日の間、長岡市内と小千谷市内で街宣車を運行して、労働相談ホットラインを周知しました。

ディーセントワークと社会的連帯経済

中央労福協　オンライン連続講座を開設

第４回講座　2023年12月7日（木）
「「曖昧な雇用」で働く人たちを包摂する新たな労働運動」

第５回講座　2024年1月23日（火）
「プラットフォーム協同組合の可能性と課題」

詳しくはホームページで
https://www.rofuku.net/sse-seminar/